



平成 28 年度 Vol.11

防災対策 情報便

年月日	平成 29 年 2 月 28 日
発行	災害対策課
所属長	課長 大石 照男
電話	06-6489-6165

1 阪神間7市1町合同緊急速報メール一斉配信訓練を実施します

平成 29 年 3 月 11 日(土曜日)午前 10 時頃に、阪神間 7 市 1 町の合同防災訓練として、「阪神間 7 市 1 町合同緊急速報メール一斉配信訓練」を実施します。

この訓練は、災害時の初期行動について考える「きっかけ」とし、防災意識を高めるとともに、エリアメール・緊急速報メールの周知を図ることを目的として実施するものです。

午前 10 時頃、本市を含む阪神間の市町におられる方の携帯電話・スマートフォンが一斉に鳴ります。尼崎市では、これまでも平成 28 年 11 月 13 日の兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練や「1.17は忘れない」地域防災訓練において、エリアメール・緊急速報メールを配信していますので、ご存じの方も多と思いますが、マナーモードでも音が鳴る場合がありますのでご注意ください。対応機種や受信設定方法などについては、各携帯電話会社にご確認ください。

<実施日時>

平成 29 年 3 月 11 日(土曜日)午前 10 時頃

<配信内容>

件名:【訓練 DRILL】大津波警報

本文:【訓練 DRILL】これは訓練です。こちらは尼崎市です。

兵庫県瀬戸内海沿岸に大津波警報が発表されました。

災害情報に基づき、適切な避難行動を実施してください。

2 「災害救助物資の供給等に関する協定」締結について

平成 29 年 2 月 3 日(金曜日)、株式会社ハークスレイ(ほっかほっか亭)と「災害救助物資の供給等に関する協定」を締結しました。

災害時には、流通の混乱等から様々な物資の不足を招くことはこれまでの教訓から明らかであり、避難生活が長期化することが考えられることから、行政の備蓄物資だけでなく、民間事業所の協力を得て、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備えることが必要です。

この協定締結により、市内で災害が発生した場合に、本市の要請に基づき、株式会社ハークスレイから食料品を避難所等に供給いただくことで、避難者への迅速な食料の確保につながることを期待されます。



協定締結式の様子

3 自主防災会の防災訓練について

平成 29 年 2 月 11 日(土曜日)午前 10 時から武庫川自主防災会・元浜自主防災会が尼崎市競艇場にて、平成 29 年 2 月 18 日(土曜日)午前 10 時から堂松北自主防災会が立花福祉会館にて、防災訓練を実施しました。

訓練内容は、次のとおりです。

(活動内容)

武庫川自主防災会・元浜自主防災会

⇒水平避難・垂直避難訓練、コミュニティ資機材取扱訓練、初期消火訓練、負傷者搬送訓練、煙体験、炊き出し訓練等

堂松北自主防災会

⇒水平避難・垂直避難訓練、救急救命訓練、防災講座、炊き出し訓練等



武庫川自主防災会・元浜自主防災会
の合同防災訓練の様子



堂松北自主防災会の訓練の様子

4 第3回災害時要援護者支援連絡会議について

平成 29 年 2 月 28 日(火曜日)午前 10 時から、すこやかプラザにおいて、第3回災害時要援護者支援連絡会議を開催しました。

この会議には、災害対策課や福祉課をはじめとする関係課のほか、警察、関係団体、事業者などが参加し、災害時要援護者への支援について、課題解決に向けた検討を行っています。

今回の会議では、尼崎市避難行動要支援者避難支援指針(案)に係るパブリックコメント結果や、避難行動要支援者名簿の更新状況などについて報告を行うとともに、今後の取組みについて意見交換を行いました。



5 ひょうご防災リーダーとの研修会の実施について

本市では東日本大震災以降、兵庫県が実施する「ひょうご防災リーダー講座」受講生への経費助成を行っています。また、NPO 法人兵庫県防災士会(以下、防災士会という)との防災協力協定に基づき、平常時からの防災意識啓発活動等、地域防災の担い手となる防災リーダーの育成に努めています。

今回、市職員とひょうご防災リーダーが互いのスキルアップと連携強化を目的とし、平成 29 年 2 月 23 日(木曜日)15 時から中央公民館視聴覚室にて、研修会を実施しました。

講師として、「避難所運営ゲーム(HUG)」の開発者である「HUGのわ」主宰の倉野康彦氏をお招きし、避難所運営ゲームを進める上でのポイントや実際の避難所運営の現場において役に立った事例等についてご講演いただきました。今後も、地域防災力向上に向けて、平常時から防災リーダーとの連携強化に努めて参ります。

【避難所運営ゲーム(HUG)】

避難所運営を考えるためのひとつの手法として、静岡県で平成 19 年度に開発された避難所運営を模擬体験するゲームです。HUGは、現在、全国の自主防災組織やボランティア団体、学校職員、市町村職員、福祉関係者、学生、国際交流団体など幅広く活用されています。



研修の様子

6 自主防災会の防災マップづくりについて

大規模な災害が発生した場合、消防や警察等がすぐに駆けつけられるとは限らず、自分の命は自分で守る「自助」の意識や、近隣の人々が助け合う「共助」の精神を一人ひとりが持ち、災害に対する正しい知識を身につけ、災害に備えることが大切です。

地域の防災力向上のため、市内の自主防災会において地域独自の防災マップづくりが進められており、平成 29 年 2 月も活動が実施されました。

地域の防災マップは、防災の基礎知識を身につける防災講座、危険箇所等の情報収集を行うまち歩き、印刷されたマップの校正作業等を経て、出来上がります。夏ごろから進められている防災マップづくりも終盤に差し掛かっています。

本市では、さまざまな形で地域独自の防災マップづくりを支援しています。

<2月の活動内容>

潮江自主防災会(マップの校正)、左門殿自主防災会(マップの校正)、東大島自主防災会(マップの最終確認)、塚口西自主防災会(マップの最終確認)、武庫第4自主防災会(マップの最終確認)、上坂部自主防災会(マップの校正)、浜自主防災会(マップの作成)



上坂部自主防災会のマップの校正作業の様子

7 尼崎市防災セミナー(第3回)を開催しました

(「小さな命をまもる家庭の備え ママ・パパのための防災教室」)

平成29年2月26日(日曜日)14時から、女性センタートレピエにて今年度3回目となる「家庭向け」の防災セミナーを開催しました。

本市では今年度、「事業所」、「子ども」、「家庭」と3つテーマによる防災セミナーを開催することとしており、3つめのテーマとなる今回は、就学前児の保護者の皆さまを対象に、「小さな命をまもる家庭の備え ママ・パパのための防災教室」と題した講演や体験型プログラムを実施しました。

当日は、多くの家族連れの方々にご参加いただき、災害時に役立つ日用品等の活用方法などについて、講師のあんどうりす氏よりご講演いただきました。ご参加いただきました皆様方、ありがとうございました。



第3回防災セミナーの様子

8 気仙沼市への職員派遣について

人数 3名(土木職)

派遣期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

～気仙沼市への派遣職員からの便り～

【土地区画整理室 森田 恭章】

気仙沼市での派遣期間も残りわずかとなってきました。4月の赴任当時、吹きつける風が冷たく気候の違いに驚いたことがつい昨日のこのように思い出されます。



復興が進む魚町・南町地区土地区画整理事



私は魚町・南町地区土地区画整理事業地区内の工事を担当していますが、気仙沼市では土地区画整理事業だけでなく宮城県施工の防潮堤工事や被災者の受け皿となる災害公営住宅の建設、また各種インフラ工事などが展開されています。

様々な工事は、公表している完成予定年度に間に合わせるため、工程の調整に苦勞しながら進めていますが、課題も多く思うように進まなかったというのが正直なところです。

しかし、赴任当時と現在を比べると、部分的ではありますが盛土が完成し住宅の再建が進みつつあります。気仙沼市が以前のまちの姿を取り戻すにはまだもう少し時間が必要だと思いますが、この派遣業務が復興事業の一助になるのであれば、貴重な経験ができています。

最後に、気仙沼市では1年を通して色々なイベントが開催されています。地元職員の方

に誘ってもらったのをきっかけに、『気仙沼みなとまつり』や地元町会の『敬老芋煮会』など様々なイベントに参加することができました。また、派遣宿舎では頻りに懇親会が開催され学生時代のような雰囲気です。

【土地区画整理室 佐々木 亮】

気仙沼市役所に着任して間もなく1年が経とうとしております。気仙沼市では魚町・南町地区土地区画整理事業の事業上支障となる仮設店舗の解体工事の設計や現場監督、区画整理の設計業務委託や工事、駐車場整備などを担当しています。



復興が進む魚町・南町地区土地区画整理事業(南)

区画整理の工事では、インフラ整備や防潮堤整備、観光用・離島住民の生活用駐車場の確保等の問題が絡んでくる中で、どのように工事を展開していくのかを担当の一人として学ばせていただいております。滅多にできない貴重な経験をさせてもらっていると感じております。

また、気仙沼市のおすすめポイントは、①人が温かい、②海鮮系が美味しくて安い、③夏は関西より涼しく過ごしやすい、④牛乳がすごく美味しい等いいところ満載です。(冬が寒いのは・・・)

【下水道課 東 勲】

気仙沼市に派遣され、間もなく1年が経とうとしています。4月当初から尼崎市との仕事の進め方の違いに戸惑いつつも業務に取り組んだ時期も今となっては少し懐かしく思います。



気仙沼市下水道終末処理場(川口町)

気仙沼市下水道課において尼崎市派遣職員の業務内容としては災害復旧エリアの下水道管の維持管理と魚町・南町土地区画整理事業区域における下水道管渠の災害復旧工事を行ってきました。

気仙沼市の職員の方々や、他都市派遣職員の方々に力を貸していただきながら少しずつではありますが、復興を進めることができたのではないかと感じております。

気仙沼市が元の姿に戻っていくためにはまだまだ時間が必要です。復興のひとつとしてたくさんの人が気仙沼市に訪問してくださることも必要だと思います。

気仙沼市には新鮮でおいしい海の幸がたくさんあります。カツオやサンマの他にホヤやメカジキなど気仙沼市でしか味わえない美味しいものであふれています。気仙沼市に観光に来ることも復興の一助になると思いますので、今後も気仙沼市の魅力をたくさんの人々に伝えていきたいです。

(気仙沼市ホームページ)

<http://www.kesennuma.miyagi.jp/jirushi/index.html>



気仙沼市の海の幸

